

5月27日（火）白浜町集会・2025年原水爆禁止国民平和行進 日本政府は禁止条約の署名・批准を！！



5月27日（月）白浜町出発集会が始まります。白浜町原水協の榎本清司さんの進行です。最初に、高田由一さんです。「世界各地での紛争が、核兵器廃絶の運動に大きな影を落としています。ウクライナでのロシアの侵略、イスラエルのガザ侵攻を含めこういう世界情勢の中で、またぞろ『核抑止力論』が力を持ってきたような気がしています。しかし、『核抑止力』は、被団協の皆さんも言われているように、これほど危険な議論はない訳で、本当にいつ間違っ核兵器が使われる可能性が出てこないとは限りません。（核兵器廃絶の運動）これは私たちに課せられた課題だと思います。」と、地元代表の挨拶をします。次に、井潤誠白浜町長メッセージです。「世界では核兵器廃絶に向けて多くの国際会議などが行われている中、唯一の被爆国である私たちは、次世代のために、核兵器廃絶と世界平和をいっそう訴えることが必要だと思います。今後世界の人々を滅亡に導くような恐ろしい狂気が再び使用される事がないように平和への祈りを捧げるしだいです。」と玉木総務課長が代読します。町職員も4、5人参加しています。続いて、溝口耕太郎議長の激励メッセージです。「ヒロシマ、ナガサキの被爆から80年となり、戦争を知らない世代が増加していく中で、世界で唯一の被爆国として、日本が国際社会の先頭に立ち、核兵器の悲惨さと平和の尊さを次世代に訴えていくことが必要だと思います。」と松田剛治総務文教厚生委員長が代読します。

続いて、わかやま市民生協の濱日真莉さんが決意表明をします。最後は、読み聞かせの会坂口志津子さんが白浜町集会アピールを読みあげます。集会の参加は27人でした。平和行進です。平和行進は町庁舎から商店街を通り、白良浜の横を歩いて最後、坂道を登り再び庁舎に戻ってきました。5月28日は、西牟婁最後さすみ町の平和行進です。

県事務局